令和６年度第３回さいたま市発達障害者支援連絡協議会　議事概要

開催日時：令和７年２月２０日（木）　１０時～１２時

開催方法：障害者総合支援センター　２Ｆ研修室

出席者名：委員・・・名越　斉子委員、河西　有奈委員、眞鍋　伸介委員（代理出席）、山森　恵美委員、石丸　靖子委員、小島　正美委員、中野　昭江委員、内田　陽子委員、中澤　真佐子委員、西本　享司委員、岡田　清華委員、市原　菜央委員、新井 勇気委員、野中 好永委員、枝　秀威委員、鈴木　研吾委員 （敬称略）

　　　　　助言者・・今出　大輔様（子ども家庭庁支援局障害児支援課発達障害児支援専門官）

事務局・・小泉　秀幸、太田　邦子、中尾　賢史、新藤　洋明、森居　深雪、菊地　義徳、藤原　真沙美（さいたま市発達障害者地域支援マネジャー）、加藤　裕子（同）

欠席者名：天野　尚子委員、佐藤　忠広委員、國分　留志委員、井上　野歩委員（敬称略）

配布資料：次第

令和６年度さいたま市発達障害者支援連絡協議会　委員名簿

令和６年度第2回さいたま市発達障害者支援連絡協議会議事概要

【集約版】Ｑ-ＳＡＣＣＳ記入用シート（非公開）

【機関別】Ｑ-ＳＡＣＣＳ記入用シート（非公開）

第２回全体会事例検討ワークシートまとめ（非公開）

第２回全体会アンケートまとめ（非公開）

公開又は非公開の別：非公開（さいたま市情報公開条例第23条第2号に掲げる場合に該当するため｛同条例第7条第2号に規定される不開示情報に該当する事項について審議し、又は意見を聴取するため｝）。

議題:

1. Ｑ-ＳＡＣＣＳを用いたさいたま市の発達障害児者支援体制の検討

委員より各自が作成したＱ-ＳＡＣＣＳシートの説明後、集約したシートをもとにグループ検討、全体共有を行った。資源の充実が強みとして可視化された一方で、情報を得る方法やニーズに合致した支援を選ぶことの難しさ、潤いファイルの活用などが課題として挙げられた。

また、子ども家庭庁今出専門官より、本検討が親の会や生活保護担当など多くの機関が参加して行われていること、相談支援会議が行われていること等をさいたま市の強みとして助言頂いた。

（２） さいたま市発達障害者地域支援マネジャー活動報告

　　　　　実際にコンサルテーションを行った事例をもとに活動を報告した。

（３）事務局による事務連絡

　　・謝金の支払いについて

　　・来年度の委員委嘱について

以上